

令和7年1月10日	資料1
令和6年度 第3回 権利擁護部会	

## 令和6年度障害者差別解消法セミナーの実施報告

区民を対象とした障害者差別解消法の普及啓発セミナーについて、令和6年度は、区立障がい者福祉センターとの共催により、以下のとおり、対面で開催した。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため開始したウェブ配信については、今年度も実施することとし、動画編集が完了次第、区公式 YouTube にて公開する予定である。

### 1 セミナー概要

日時、会場	令和6年12月3日（火）18時30分～20時00分
講演タイトル	第1部 「障害者差別解消法改正のポイント」 第2部 「対話から始まる合理的配慮」 第3部 パネルディスカッション
講師	第1部 田中 恵美子（東京家政大学 教授） 第2部 志磨村 早紀（武蔵野大学 助教）
申込	令和6年10月15日(火)～令和6年11月27日(水) まで 電子申請サービス等での申込
人数	22名
内容	第1部「障害者差別解消法改正のポイント」 ・ 民間事業者による合理的配慮の提供の義務化について ・ 障害者差別解消法の目的、概要 ・ 合理的配慮の提供とは ・ これから目指す社会（インクルーシブな社会） など 第2部「対話から始まる合理的配慮」 ・ 聴覚障がいの聞こえ ・ 理解を補うコミュニケーション手段 ・ 建設的対話の事例（当事者、支援者の立場から） など 第3部 パネルディスカッション ・ 講師による第1部、第2部の意見交換 ・ 会場からの質問
障がい当事者 向けの配慮	手話通訳

### 2 周知方法

- （1）区ホームページ内、障害者差別解消法ページへの掲載
- （2）広報いたばしへの掲載

(3) チラシの送付（区民事務所、ふれあい館、健康福祉センター、福祉園、図書館、区内障がい者支援機関、大学、郵便局、商店街等）

(4) 区公式 SNS

### 3 アンケート結果

会場で配布

#### (1) 回答者数

22 名（回答率：100%）

#### (2) 設問に対する回答

##### ①年代

20 代以下	0 人
30 代	5 人
40 代	2 人
50 代	7 人
60 代以上	8 人

##### ②今回のセミナーは何で知りましたか。（複数回答可）

広報いたばし	5 人
区公式 SNS	0 人
チラシ	5 人
高島平新聞	0 人
区ホームページ	4 人
障がい者福祉センターホームページ	1 人
関係者・知人からの紹介	5 人
その他	3 人(オンライン、メールがきた、郵便局、公式 LINE、高次脳の講演のチラシ)

##### ③講演の理解度

#### 第 1 部「障害者差別解消法のポイント」の内容について

とても分かりやすかった	14 人
分かりやすかった	5 人
ふつう	3 人
分かりにくかった	0 人
とても分かりにくかった	0 人

(自由記述)

- ・非常にわかりやすい説明で、社会の移り変わりについてよくわかった。
- ・今まであいまいだったのが明確的にわかりやすかった。
- ・合理的配慮の概念が理解できた。
- ・文字に伝えるということ、対話する、解消する 医学モデル、人権モデル。
- ・実際の例をあげて説明してくれたので理解しやすかった。話し方もとても聞き取りやすかった。
- ・法律について、その解釈も含めた説明がとてもわかりやすかった。

## 第2部「対話から始まる合理的配慮」の内容について

とても分かりやすかった	16 人
分かりやすかった	4 人
ふつう	2 人
分かりにくかった	0 人
とても分かりにくかった	0 人

(自由記述)

- ・障がいに関わらず、「対話」「互いの歩み寄り」が大切だと感じた。
- ・対話する大切さを改めて思い知った。
- ・当事者の声を聞いたのが初めての経験だった。知らないこと、わからなかった事が多々あることに衝撃を受けた。お互い歩み寄る事が大事！
- ・聴覚障がいがありながら言語聴覚士になれることに正直驚きました。  
自ら障壁を乗り越えられた姿を心からまぶしく感じました。

## 第3部「パネルディスカッション」の内容について

とても分かりやすかった	15 人
分かりやすかった	4 人
ふつう	1 人
分かりにくかった	0 人
とても分かりにくかった	0 人
回答なし	2 人

(自由記述)

- ・障がい者雇用が障がい者枠で一括りになってしまう現実について考えさせられた。
- ・質問も丁寧にお答えいただきました。ありがとうございます。
- ・仕事や学業において必要な配慮等が説明できなかつたり、気づけない人は障がい者に限らずたくさんいます。受け止める職場づくり・場づくりを目指したいと思います。

**④申し込まれたきっかけをお聞かせください（自由記述）**

- ・法律の内容と当事者の声を聴いてみたかったため。
- ・公式 LINE に載っているのをみて、志磨村さんのお話が聞きたかったので申し込みました。
- ・精神障がい者である子供への対応を考えるため。
- ・障害者差別解消法について知りたかったので。
- ・職場からも近く、知人に誘われたから。どのような物なのか興味もあった。
- ・ぜひ勉強したいと思ったので。来られてよかったです。

**⑤その他、障害者差別解消法に関して、ご意見等があればお聞かせください。（自由記述）**

- ・板橋区の職員全員がこの講演を聞くことを義務にしてほしい。
- ・精神障がい者への対応もしてほしい。
- ・聴覚障がいの方が助けてほしいときはどのような手段ですのか知りたかったです。
- ・障害者差別解消法がもっともっと認知されるようになればいいと思った。
- ・普段の生活で、余り気づかないことに対して、大きく自身の認識が変わりました。実は障がいという分野はほとんど知らないことが多く、自分が何をわかっていないかを考える貴重な体験になりました。
- ・参考になりました。もう一度開催してくださいよろしくお願いいたします。
- ・地域社会で生活していくには、健常者・障がい者の区別なく人社会で生活して行くのには一番大切なことはコミュニケーション対話をいかに持続していくかです。非常に難しく又一番重要で大切なことだと思う。区民全員が生活区域で実行して行くかである。

**4 次年度に向けての検討内容（事務局案）**

令和2年度までは、障害者差別解消法セミナーを対面形式で開催していたが、令和3年度から令和5年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、Web 配信形式で実施してきた。

令和6年度は、対面で開催している様子を動画撮影し、後日、編集した動画をオンラインで配信することで、対面形式とウェブ配信形式の両方の良さを活かすこととした。

また、今回は複数の講師にお願いしたため、パネルディスカッションを開催した。2人以上の有識者が相互に意見を交わすことで、セミナーの雰囲気も活発化すると感じた。

今後複数講師にお願いする場合は、パネルディスカッションの時間をもう少し長く設定したり、会場からの意見をもらいやすくなるような席配置等を考えていきたい。